

一般社団法人福岡市医師会
定例記者会見

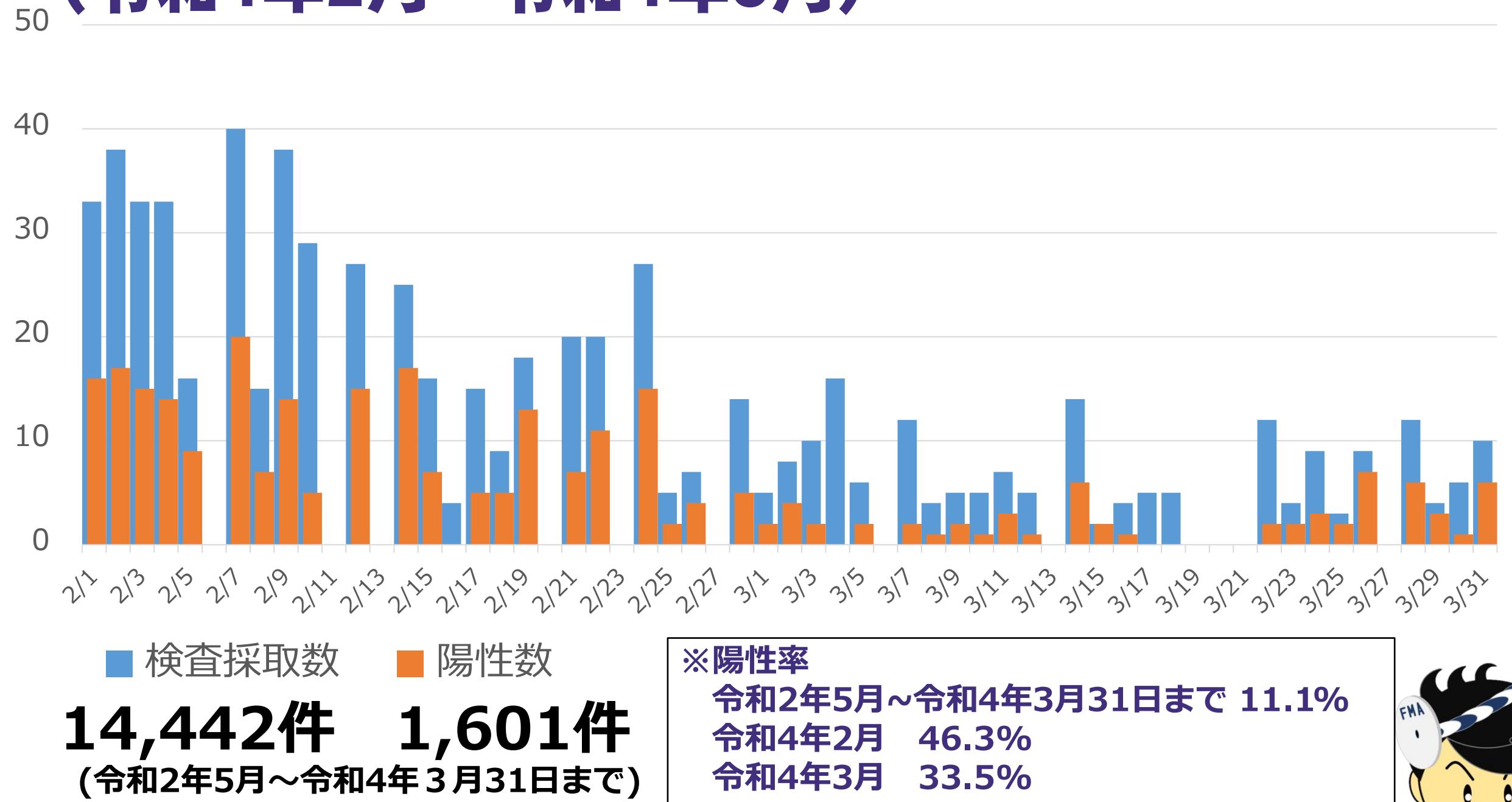
令和4年4月6日(水)13時30分

福岡市医師会 常任理事 中山 英樹

一般社団法人 福岡市医師会



1. 検体採取数と陽性数（福岡市医師会診療所） (令和4年2月～令和4年3月)



2. 3回目接種体制（福岡市）

＜18歳以上＞

接種場所	接種実績
①個別接種（地域のクリニック約800箇所） ※ファイザー社製ワクチン使用	約33.6万回
②集団接種（市内8会場） ※週末(金・土)夜間接種および予約なし接種実施 ※武田/モデルナ社製ワクチン使用	約25.7万回
③高齢者施設等への出張接種 ※緊急対策として移動集団接種を臨時実施 ※武田/モデルナ社製ワクチン使用	約 3.1万回

令和4年3月31日 現在



一般社団法人 福岡市医師会

3. 3回目接種体制（福岡市）

< 12歳から17歳 >

4月1日（金）より接種券の発送を開始

- ファイザー社製ワクチンを使用
- 市内約300箇所の実施医療機関（個別接種）

小児科医配置の中央体育館（集団接種）



4. 小児ワクチン接種体制（福岡市）

<12歳から15歳（1、2回目）>

接種場所	接種実績
①個別接種（地域の小児科クリニック） ※約200医療機関（R3.11以降は11医療機関で対応）	約3.7万回
②集団接種（中央体育館 日曜日） ※小児科医を配置	約3.9万回

令和4年3月31日 現在



5. 小児ワクチン接種体制（福岡市）

＜5歳から11歳＞

ワクチン：ファイザー社の小児用ワクチン

接種間隔：3週間の間隔をあけて2回接種

※12歳以上に用いるワクチンと用法用量が異なる別種類のワクチン

接種場所	接種実績
①個別接種（市内約70箇所の小児科） 随時開始予定	約700回
②集団接種（ももち体育館 日曜のみ） ※3月6日より開設、小児科医師を配置	約800回

令和4年3月31日 現在

一般社団法人 福岡市医師会



6. 治療薬について

＜経口治療薬＞

**投与対象：重症化リスク因子を有するなど
本剤の投与が必要と考えられる患者**

薬剤名(販売名)	企業名	備考
モルヌピラビル (ラゲブリオ)	メルクなど	・ 2021.12承認 ・ 入院・死亡リスク 30% 減少
ニルマトレルビル/リトナビル (パキロビッドパック)	ファイザー	・ 2022.2承認 ・ 入院・死亡リスク 89% 減少
S-217622 ※販売名未定	塩野義製薬	承認申請中

一般流通はしておらず
まずはワクチン接種で重症化予防



7. 罹患後症状（後遺症）について

＜罹患後症状（後遺症）＞

後遺症の代表的な症状	
呼吸器症状	全身症状
咳	倦怠感
喀痰	関節痛
息切れ	筋肉痛
胸痛	
精神・神経症状	その他の症状
記憶障害	嗅覚障害
集中力低下	味覚障害
不眠	動悸
頭痛	下痢
抑うつ	腹痛

※厚生労働省：新型コロナウイルス感染症
診療の手引き 第7.1版より

まずはかかりつけ医に相談
福岡県 後遺症診療相談窓口
(かかりつけ医がない場合)
☎ 092-643-3630
(24時間対応)

ワクチン接種で
後遺症のリスク減



8. 自宅療養の過ごし方

<福岡市医師会ホームページ> URL:<https://www.city.fukuoka.med.or.jp/>

自宅療養の重要ポイント

- ① 感染対策をしましょう
- ② 毎日の病状を誰かに報告しましょう
- ③ 脱水対策をしましょう
- ④ 症状が悪化したら医療機関等へ連絡しましょう
- ⑤ 症状が改善したら体操等で体を動かしましょう

九州医療センター 長崎洋司 先生 協力



一般社団法人 福岡市医師会